

短大

淑徳短期大学社会福祉学部児童福祉学科

私はAO入試で合格し、学年トップで進路が決まりました。ですから決まるまでの期間は誰よりも短かったでしょう。ですが、私の進路決定は長かったかと思います。みなさんの参考になるかはわかりませんが、私の話を書くので読んでいただければと思います。

私は高校一年生の頃から進路について考えていました。その頃私は動物に関わる仕事に就きたいと考えていたので高一の夏休みに部活動の休みを利用して東京動物専門学校の実験授業に行きました。予想通り高校一年生は私しかいませんでしたが、楽しかったです。しかし、就職状況は中々困難な事を知り進路について考え直していました。そんな同時期に私は精神障害を持つ子ども達とふれあうボランティアをしていました。元々子どもが好きだった私はこの子どもたちの力になれる仕事に就きたいという感情を抱き、図書館で調べた所、それは福祉関係でした。お年寄りも私は好きで今は高齢化で福祉の仕事は幅広いので私は福祉関係の大学に行こうと決めました。そして高校二年の時には多くの大学を調べパンフレットを沢山取り寄せました。そして多くの福祉大学を見ていると、淑徳大学と共に淑徳短期大学の資料も入っており、見てみました。すると短期大学で私の取得したい資格が取れる事がわかり、早く就職したいと考えていた私はその短大に惹かれました。初めは社会福祉学科の社会福祉を希望していた私ですが、児童福祉コースで取得できる保育士の資格も取りたいという気持ちもありましたが、私はピアノが全くの未経験者だったため、半ば諦めていたコースを調べました。すると、先輩方で未経験から始めた人は沢山いる事を知り、私は短期間で私の求める多くの資格が取れるこの学校にしようと決めました。それからすぐに高校三年生になり、受験のために私はインターシップやボランティアに積極的に参加しました。短大のオリエンテーションにももちろん行き、その時に先生方、先輩方に面接の重要点や詳細を細かく聞き、全てを手帳に記入しました。その後エントリーシートを何度も書き直し、六実の先生方に何度も読んでもらい提出しました。次に面接の準備のため毎日新聞を読み重要な所は切り取りノートに貼ってノートにいくつかの予測と質問とその回答を書き、国語科の先生に手直しをしてもらい、担任の先生、進路の先生に面接練習を手伝っていたとき、本番の面接に挑みました。二度の面接でしたが、重要なのは笑顔だと思います。笑顔一つで雰囲気が良くなるのです。中々長くなりましたが、私の体験でみなさんに一番伝えたい事は早く進路について考えておけば、色々と機転がきくという事です。私の体験を読んで下さったみなさんならおわかりでしょう？そしてそれと同時期にギリギリに進路を決めても頑張り一つで一早く合格する事も可能なのです。偉そうな事かもしれませんが、ぜひ在学生のみなさんも悔いの残らない決定をして下さい。

千葉経済大学短期大学部こども学科初等教育コース

私は、体育系の部活動だった為に日々練習や試合があったので勉強が手につかない状態でした。ようやくじぶんの進路と向き合い本格的に動き出したのは、引退してからでした。中学校1年生の時から抱いていた将来の夢がありました。しかし、どのような学校があるのか全く分からず、すごく焦りました。

私がこの学校を知ったきっかけは、部活動の先輩が通っているので学校のことなどを話やメールでいろいろと聞きました。オープンキャンパスに何度も参加し体験することで「この学校なら夢を実現させることが出来る。」と強く思いました。この学校に入りたいという気持ちが強く、今まで自分が頑張ってきたことや幼児教育に対する熱意をアピール出来る一般推薦で受験することにしました。受験内容は作文と面接があり、作文が40分600字で朝日新聞か読売新聞のコラムを読んで感想を書くものでした。私の家は、朝日新聞でたまたま6月から新聞が溜まっていたので天声人語を切り抜きました。作文でコラムから出題される場合、6月・7月頃の記事が使われる可能性が大きいそうなので、受験校が決まっていなくても新聞は取っておいた方が良いでしょう。2ヶ月前に取り掛かり、国語の先生に作文の基礎から教えてもらい、昼休み・放課後・休日・帰宅後に作文をとにかく書いては先生に見せの繰り返しでした。作文の構成・書き方に慣れるまで大変で、書けるようになると、どう審査員の目に留まるような文が書けるかが課題で何度も直されてばかりでボロボロでした。面接練習は、3週間前に取り掛かり、初めは100点中3点でした。抑えておいた方が良い質問事項を教わり、対する答えを紙に書き何度も先生に見せに行き完璧になってから暗記し、お風呂・登下校中繰り返し練習しました。その結果、受験間近の面接練習では90点までになりとても自信になりました。面接練習を頼む先生は、面倒見が良く、ツッコミが激しい先生で、いろいろな方々に掛かるのがオススメです。パンフレットを端から端まで読み込むことで、面接も作文にも有効活用出来ると思います。

受験当日は、練習で書いてきたものを思い出しながら書き、練習で一度も時間内に終わらなかったのに10分前に終わりました。人はいざという時、すごい集中力を発揮するそうです。面接は、志望理由・推薦書の内容について聞かれ練習通り自分をアピールすることが出来ました。

早めに自分の進路と向き合いオープンキャンパス・パンフレット・先生・先輩などから情報収集をし、受験に必要な項目を把握して計画的に行うことが先手必勝に繋がると思います。いつでも相談に乗ります！！頑張ってください。

東京家政大学短期大学部保育学科

私は指定校推薦で受験し、合格することができました。私の将来の夢は、子どもと触れ合う仕事に就くことです。なので、保育科の学校を探すことから始めました。しかし、専

専門学校、短大、大学と幅が広く、通う年数も違うので、どうすれば良いのか考えました。短大は2年間という短い期間なので忙しいと聞いていましたが、大学4年間でゆっくり学ぶより、2年間で集中して勉強したいと思い、短大に決めました。

そして、気になった学校のオープンキャンパスに参加しました。私は部活もあったので、時間を見つけて行きました。その数校のうちの1校が東京家政大学短期大学部で、一番印象に残った学校でした。この学校に決めたのが夏休みで、指定校推薦を狙うことにしました。一人だけしかもらえないので不安でしたが、先生にもらえたことを聞いたときは本当に嬉しかったです。

指定校推薦は、ほとんど受かると聞いていました。でも逆にプレッシャーでもあり、ここで気を抜いてはいけないと思いました。受験日は11月でまだ時間がたくさんあったので、その間に自分が今できることをやろうと思いました。そこで、インターンシップやボランティアに参加して保育園にいたり、こどもに関する本や新聞を読んで保育の知識を増やす努力をしました。また、保育科の学校に進んだ先輩方にアドバイスしてもらうこともありました。聞いたことやその時の体験などは、自分なりにノートにまとめておきました。そうすれば何度でも見直すことができるので役立ちます。

受験は集団面接だったので、10月の中旬ころから何人かの先生方に練習をしてもらいました。先生によっては質問などが違うので、何回か練習すると自信がつくと思います。

試験当日、面接は少し緊張してしまっただけで、自分の思いを素直に言うことができました。そして合格することができました。応援してくれた家族や友達、先生方にはとても感謝しています。たくさんの人に支えられていたことを改めて感じました。

受験は、不安や悩みがあると思います。それでも諦めずに努力すれば、必ず良い結果が得られるはずです。また、悩んだときは周りの人に話を聞くことも一つの方法です。前向きに考えるのが一番です。自分の夢に向かって頑張ってください。